

第 9 回巨大津波災害に関する合同研究集会に参加しました(2019/12/19-20)

場所：関西大学梅田キャンパス 8 階ホール（大阪府大阪市）

参加者：今村教授, Anawat 准教授, 山下准教授, 門廻助教, 保田プロジェクト講師, Kwanchai 研究員, 鎌田 (B4), 田畑 (B4), 渡邊勇 (B4), 渡邊凌生 (B4)

12 月 20 日～21 日に、「巨大津波災害に関する合同研究集会」が関西大学梅田キャンパスで開催されました。本研究集会は、津波災害に関する研究に取り組む様々な分野の研究者や学生による学術的な交流を通じて、津波研究の発展と防災・減災に資することを目指して、2011 年から毎年開催されています。本年度は、発表者として門廻助教, 保田プロジェクト講師, Kwanchai 研究員, 鎌田 (B4), 田畑 (B4), 渡邊勇 (B4), 渡邊凌生 (B4) が参加いたしました。発表者の講演内容は以下の通りです。来年度は東北大学にて開催予定です。

○門廻充侍, <u>今村文彦</u>	東日本大震災における宮城県での死因分類と傾向
○保田真理	津波災害を軽減するシズンサイエンティストの役割
○ <u>Kwanchai Pakoksung</u>	GLOBAL OPTIMIZATION OF NUMERICAL TWO-LAYER MODEL USING OBSERVED DATA: A CASE STUDY OF THE 2018 SUNDA STRAITS TSUNAMI
○鎌田紘一, <u>Supparsi Anawat</u> , 門廻充侍, <u>今村文彦</u>	東日本大震災における遺体発見場所に基づく死因傾向の分析～宮城県自治体を対象とした事例～
○田畑佳祐, <u>佐藤翔輔</u> , <u>今村文彦</u>	高知県における津波碑の役割と建立位置の関係
○渡邊勇, <u>佐藤翔輔</u> , <u>今村文彦</u>	東日本大震災の教訓の認知度とその影響要因に関する分析
○渡邊凌生, <u>Supparsi Anawat</u> , <u>今村文彦</u> , <u>山下啓</u> , <u>Kwanchai Pakoksung</u> , <u>Carrie Garisson-Laney</u>	土砂移動モデルを用いた遠地・近地津波による地形変化 – 米国ワシントン州ディスカバリー湾の事例

○が発表者, 下線が本研究室所属



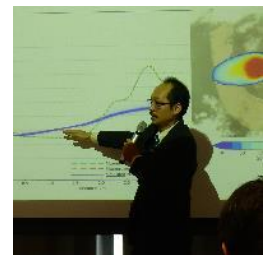
今村教授



門廻助教



保田プロジェクト講師



Kwanchai 研究員



鎌田 (B4)



田畑 (B4)



渡邊勇 (B4)



渡邊凌生 (B4)
(文責：渡邊勇)